

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
複式
【3・4年】

令和6年(2024年)2月版

※单元ごとの配当時数、学習内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第3・4学年（複式）年間指導計画案(基底)

■活用の際の留意事項

- (1) 時程の組み合わせ方は各学校で柔軟に調整する必要があります。
- (2) 配当時間が単式の場合と異なる単元がありますが、これは2つの学年の内容を組み合わせる都合などによるものです。
- (3) 学習内容の詳細は、単式用の指導計画作成資料を参照してください。

■指導計画

- (1) 単元名の「1」、「2」などは複式学級での配当時数を、[1]、[2]などは単式学級での配当時数を表しています。
- (2) 「単元名・学習内容」の「.....」は、共通あるいは類似の学習活動を示しています。

月	時間数	単元名・学習内容		留意事項
		3学年	4学年	
4	3年 1 4年 1	★学びのとびら (上p.2~7) 1[1]	★学びのとびら (上p.2~7) 1[1]	両学年とも既習学習を想起する。今後も、既習事項を生かして学習を進めていくことを本時で共通して確認したい。
	3年 8 4年 9	1. かけ算 (上p.8~23) 8[8]	2. 折れ線グラフと表 (上p.20~35) 9[9]	
5	3年 12 4年 9	2. 時ごとと時間のもとのめ方 (上p.24~29) 5[4] 5. 長いものの長さのはかり方と表し方 (上p.56~65) 7[7]	4. 角の大きさ (上p.54~71) 9[9]	
	3年 16 4年 12	3. わり算 (上p.30~42, 138) 9[9] 8. あまりのあるわり算 (上p.82~91, 139) 7[7] ○除法が用いられる場合について、除法を用いてその関係を式に表すこと ○除数と被除数の大きさに着目しながら、乗法九九を用いて商を求めること [3. わり算] ●除法の意味(等分除、包含除) ●除数と商が1位数の除法の答えの求め方 ● $a \div a$ 、 $0 \div a$ 、 $a \div 1$ の除法計算 [8. あまりのあるわり算] ○除数とあまりの大きさに着目しながら、乗法九九を用いて商を求めること ●除数と商が1位数で余りのある除法計算 ●余りと除数の大きさの関係 ●答えの確かめ方 ●余りの解釈	3. わり算の筆算(1)ーわる数が1けた (上p.36~53) 12[11]	
6	3年 10 4年 12	9. 大きい数のしくみ (上p.92~105, 140) 10[10] ○十進位取り記数法の仕組みに着目しながら、整数の表し方や読み方、数の構成、大小、順序、系列など、数の表し方の原理(命数法・記数法)についての理解を深めること ●一億までの数の命数法、記数法 ●一億までの数の位取りの原理、数の構成 ●数の相対的な大きさ、大小、系列、順序 ●10倍、100倍、1000倍、10で割った数の大きさ	1. 大きい数のしくみ (上p.8~19, 147) 8[7] ●億、兆に及ぶ数の構成、命数法と記数法 ●10倍、1/10にした数の大きさ ●十進位取り記数法と十進数の意味 ●3位数どうしの乗法の筆算 ●末尾に0のある乗法の計算の工夫 ★そろばん (上p.92~93) 2[2] ★ちがいに注目して (上p.90~91) 1[1] ★食べ残しをへらそう (上p.132~133) 1[1]	両学年とも、整数についての学習内容なので、それぞれの活動を関連づけるとともに、子どもどうしのかかわりを生かしながら、十進位取り記数法の仕組みについての理解を深める活動の構成などを工夫する。
	3年 11 4年 13	4. たし算とひき算の筆算 (上p.44~53, 139) 8[7] 7. 暗算 (上p.80~81) 2[2] ★重なり注目して (上p.54~55) 1[1]	9. 垂直、平行と四角形 (下p.14~35, 136) 13[13]	
10	3年 16 4年 18	10. かけ算の筆算(1) (上p.106~120, 140) 11[11] ○数の構成に着目し、答えの見当をつけながら、筆算形式による計算に取り組むこと ●何十、何百×1位数 ●2~3位数×1位数の筆算形式 ●乗法の結合法則 11. 大きい数のわり算、分数とわり算 (上p.122~125) 4[4] ●何十÷1位数(余りなし) ●2位数÷1位数(被除数の各位が除数で割り切れる場合) ●等分除と分数の意味の関連づけ ★どんな計算になるのかな? (上p.126) 1[1]	6. わり算の筆算(2)ーわる数が2けた(上p.94~111, 147) 14[14] ●何十、何百、何千÷1、2位数 ●2、3位数÷2位数、3位数÷3位数の筆算形式 ●仮商のたて方と修正の仕方 ●除法について成り立つ性質 ●末尾に0のある除法計算の工夫 ★倍の見方 (上p.112~117) 4[4]	両学年とも、筆算形式についての学習内容なので、3学年は乗法での積の見当と除法での商のたつ位、4学年は商のたつ位をそれぞれ意識させながら、筆算による計算の仕方のよさに気づかせるように活動の構成などを工夫する。

月	時間数	単元名・学習内容		留意事項
		3学年	4学年	
11	3年 26 4年 26	6. ぼうグラフと表 (上p.66~79) 9[9] 12. 円と球 (下p.2~13) 8[8] 14. 重さのたんいとはかり方 (下p.30~42、114) 9[9]	7. がい数の表し方と使い方 (上p.118~130、148) 8[8] 8. 計算のきまり (下p.2~13、135) 8[8] 12. 面積のくらべ方と表し方 (下p.58~75、137) 10[10]	
	3年 11 4年 13	13. 小数 (下p.14~29) 11[11] ○小数も整数と同じ十進数であることを理解したり、0.1などのもとにする数に着目しながら小数の加減計算に取り組んだりする活動 ●小数の意味と表し方 ●小数の位取り ●小数の数構成、相対的な大きさ、大小関係 ●小数の加減計算と筆算形式(小数第一位まで)	5. 小数のしくみ (上p.72~89) 13[13] ●小数の位取りの原理、小数の構成 ●小数を用いた数量の単名数表示の仕方 ●小数の順序、大小関係、相対的な大きさ ●小数の十進構造の理解深化 ●小数を10倍、1/10にしたときの大きさ ●小数の加減計算と筆算形式(小数第二位まで)	両学年とも、小数についての学習内容なので、4学年の導入にあたっては、3学年の内容と対応させながら、小数の意味を再確認する。なお、練習や習熟の段階では、4年生が3年生の学習を支援するなど、複式学級のよさを生かす活動などの工夫も考えられる。
1	3年 3 4年 4	16. □を使った式 (下p.58~63) 3[3] ○□などを用いて、数量の関係を式に表したり、数をあてはめて調べたり求めたりすること ●未知数を□として、問題場面を式に表し、□の値を求めること	11. 変わり方調べ (下p.50~56) 4[4] ●2つの数量の対応関係を表や□、○を用いた式に表すこと	両学年とも、□などを用いて数量の関係を式に表すよさに気づくことができるように活動の構成などを工夫する。
	3年 13 4年 16	17. かけ算の筆算(2) (下p.64~74、116) 10[10] ○数の構成に着目し、答えの見当をつけながら、筆算形式による計算に取り組むこと ●1~2位数×何十 ●2~3位数×2位数の筆算形式 ●きまりを使った乗法計算の工夫 ●2位数×1位数の暗算 ★倍の計算 (下p.76~79) 3[3]	13. 小数のかけ算とわり算 (下p.76~97、137) 15[15] ●小数×整数の乗法と筆算形式 ●小数÷整数の除法と筆算形式 ●除法の割り進み ●小数の意味の拡張(小数倍) ★どんな計算になるのかな? (下p.98~99) 1[1]	両学年とも、筆算形式についての学習内容なので、3学年は乗法での積の見当、4学年は乗法での積の見当と除法での商のたつ位と余りの大きさをそれぞれ意識させながら、筆算による計算の仕方のよさに気づかせるように活動の構成などを工夫する。
2	3年 8 4年 9	18. 三角形と角 (下p.80~93) 8[8] ○図形についての観察や構成などを通して、構成要素に着目しながら、それぞれの特徴や性質を表現すること ●二等辺三角形、正三角形の概念 ●二等辺三角形、正三角形のかき方 ●形としての角の概念 ●二等辺三角形、正三角形の性質	14. 直方体と立方体 (下p.100~113、138) 9[9] ●直方体、立方体の概念、特徴、性質 ●展開図、見取り図の意味とかき方 ●直方体、立方体の面や辺の位置関係(垂直、平行) ●平面上や空間内の点の位置の表し方	両学年とも、同じ領域の学習内容なので、それぞれの図形を構成する要素に着目させながら、図形についての見方や感覚を豊かにすることができるよう活動の構成などを工夫する。
	3年 10 4年 9	15. 分数 (下p.44~56、115) 10[10] ○分数の意味とその表し方についての理解を深めたり、単位分数の大きさに着目しながら分数の加減計算に取り組んだりする活動 ●分数の意味と表し方 ●分数の第一義(単位分数の何二分) ●分母が10の分数と小数の計算 ●同分母分数の加減計算	10. 分数 (下p.36~48) 9[9] ●真分数、仮分数、帯分数の概念、構成 ●仮分数と帯分数の構成と相互関係 ●分数の相等関係と大小比較 ●同分母分数の加減計算	両学年とも、分数についての学習内容なので、4学年の導入にあたっては、3学年の内容と対応させながら、分数の意味を再確認する。なお、練習や習熟の段階では、4年生が3年生の学習を支援するなど、複式学級のよさを生かす活動などの工夫も考えられる。
3	3年 3 4年 2	★そろばん (下p.95~97) 2[2] ★間の数に注目して (下p.98~99) 1[1]	★共通部分に注目して (下p.114~115) 1[1] ★ぼうさいについて考えよう (下p.116~117) 1[1]	同じ領域の学習内容が重なる場合は、関連づけるように活動の構成などを工夫する。
	3年 3 4年 3	★3年のふくしゅう (下p.100~104) 3[3]	★4年のふくしゅう (下p.118~122) 3[3]	両学年とも、各学年の復習になるので、同じ領域で共通性のある学習内容については、関連づけて扱う。
		予備時間 24	予備時間 19	